

〈住民の皆様へ〉

近年、地球温暖化や気候変動など様々な要因で、災害が頻発、激甚化しています。出水期(6月～10月頃まで)となり、風水害発生危険が高まる時季となります。町からの情報の種類やとるべき行動、町からの情報伝達を知る手段を理解して、もしもの災害に備えましょう。

◇気象庁の発表や町が発令する避難情報を知っておきましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	市町村が発令する情報 気象庁が発表する情報
			※ 緊急安全確保 (市町村が発令)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保	※ 緊急安全確保 (市町村が発令)
〈警戒レベル4までに必ず避難！〉			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 (市町村が発令)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難 (市町村が発令)
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報・ 洪水注意報等 (気象庁が発表)
1	今後気象情報悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁が発表)

※市町村が災害の情報を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない。

○住民がとるべき具体的な行動（各警戒レベルでとるべき行動）

5	すでに安全な避難ができず命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。
4	危険な場所から全員避難(立ち退き避難又は*室内安全確保)する。*家の2階以上など安全な場所へ垂直避難
3	高齢者等は危険な場所から避難(立ち退き避難又は*室内安全確保)する。その他は、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミング、地域の状況により、早めの避難が必要な居住者は避難を始めるタイミング
2	ハザードマップ等により自宅・施設等の災害リスク、指定緊急避難場所や避難経路、避難のタイミング等を再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認・注意するなど、避難に備え自らの避難行動を確認
1	防災気象情報等の最新情報に注意する等、災害への心構えを高める。

◇町の情報伝達手段

- ①防災行政無線（屋外スピーカー） ②エリアメール（携帯電話） ③緊急告知防災ラジオ
 ④KBCテレビ（dボタン広報誌） ⑤町ホームページ ⑥SNS（フェイスブック）
 ⑦LINE（町公式ライン） ⑧役場サイレン（1分～15秒停止～1分～15秒停止～1分）
 ⑨行政区長・民生委員児童委員・学校等への電話連絡
 ※屋外スピーカーの放送内容がわからない時は、電話で確認0942-77-2622

2階なら安全今夜は
みんなでここに寝よう



家の中の安全な所へ避難

★避難には様々な避難の方法があります。自分自身やご家族に合わせた避難の方法を考えておきましょう。

避難所へ



家から離れて安全な所へ避難

親戚・知人宅へ



ホテルや旅館
 ※大雨当日は満室となるため、数日前から予約が必要

問合せ
 大刀洗町総務課
 TEL: 0942-77-0171